

## 令和2年度 八幡浜市国民健康保険の運営状況

国民健康保険とは、病気やケガをしたとき、安心して医療を受けられるよう、皆さん（被保険者）がお金（保険税）を出し合って、互いに助け合う制度です。

平成30年度の国保制度改革によって、都道府県が財政運営の責任主体となり、安定的な財政運営や効率的な事業の確保等、国保運営の中心的な役割を担うこととなりました。

また、市町村は地域住民と身近な関係の中、資格管理、保険給付、国保税率の決定、賦課・徴収、保健事業など地域におけるきめ細やかな事業を引き続き担います。

ここでは、八幡浜市の国民健康保険の運営状況についてお知らせします。

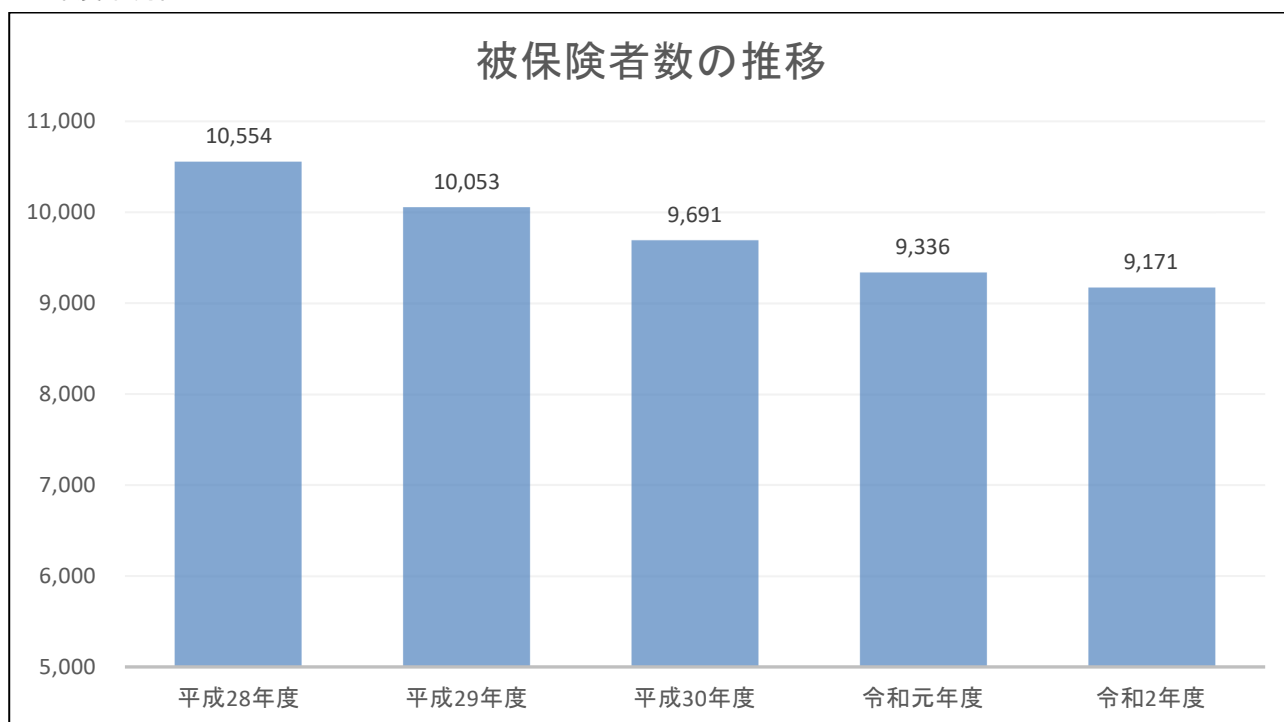
### 1 被保険者数

令和2年度末現在、被保険者数は9,171人であり、市の人口32,285人に対する割合は28.4%であり、被保険者数は市全体人口の減少に加え、後期高齢者医療制度への移行者の増加により、年々減少傾向が続いています。

単位：人

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
被保険者数	10,554	10,053	9,691	9,336	9,171

※年度末現在



### 2 医療費用と保険給付費の状況

#### (1) 医療費用

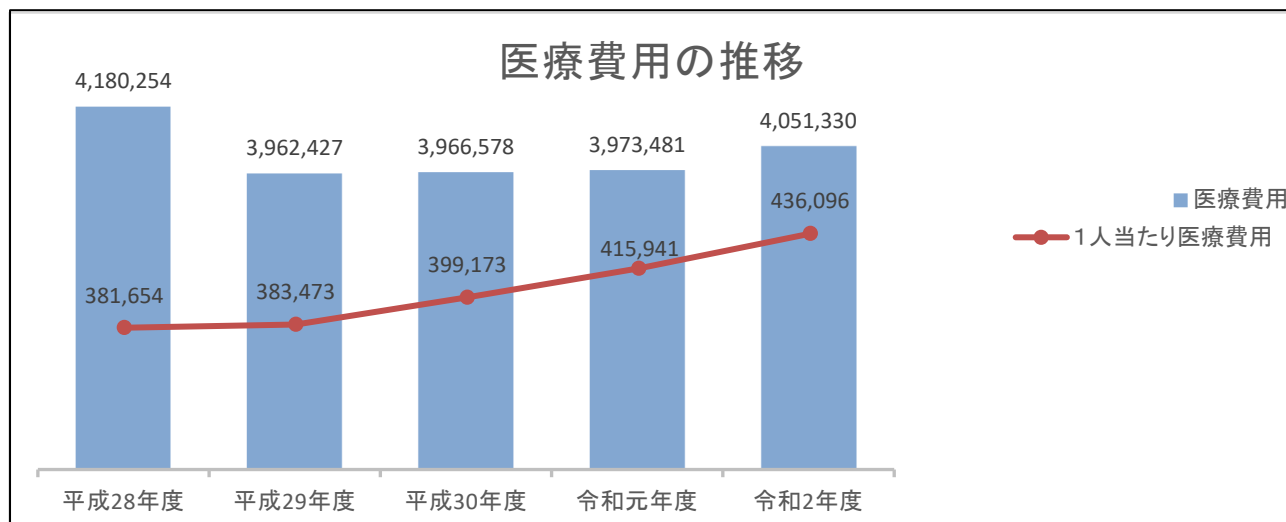
医療費用は横ばい傾向にありますが、被保険者数は減少しているため、1人当たりの医療費用は増加しています。

令和2年度での1人当たり医療費用は436,096円でした。

単位：医療費用 千円／1人当たり医療費用 円

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
医療費用	4,180,254	3,962,427	3,966,578	3,973,481	4,051,330
1人当たり医療費用	381,654	383,473	399,173	415,941	436,096

※1人当たり医療費用＝医療費用／年度平均被保険者数



## (2) 保険給付費

医療費用から患者負担分などを除いた市全体の保険給付費は、平成 29 年度以降、増加傾向にあります。

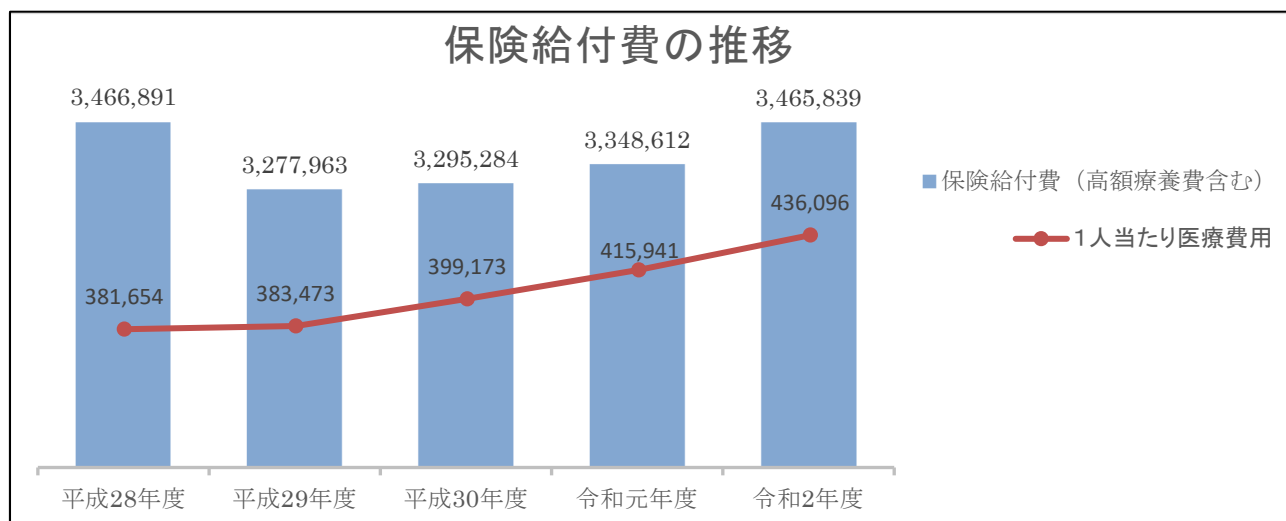
被保険者数は減少していますので、1人当たりの保険給付費は、年々、増加しています。

令和 2 年度での 1 人当たり保険給付費は 373,072 円でした。

単位：保険給付費 千円／1人当たり保険給付費 円

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
保険給付費(高額療養費含む)	3,466,891	3,277,963	3,295,284	3,348,612	3,465,839
1人当たり保険給付費	316,524	317,232	331,618	350,530	373,072

※1人当たり保険給付費＝保険給付費／年度平均被保険者数



### 3 決算状況

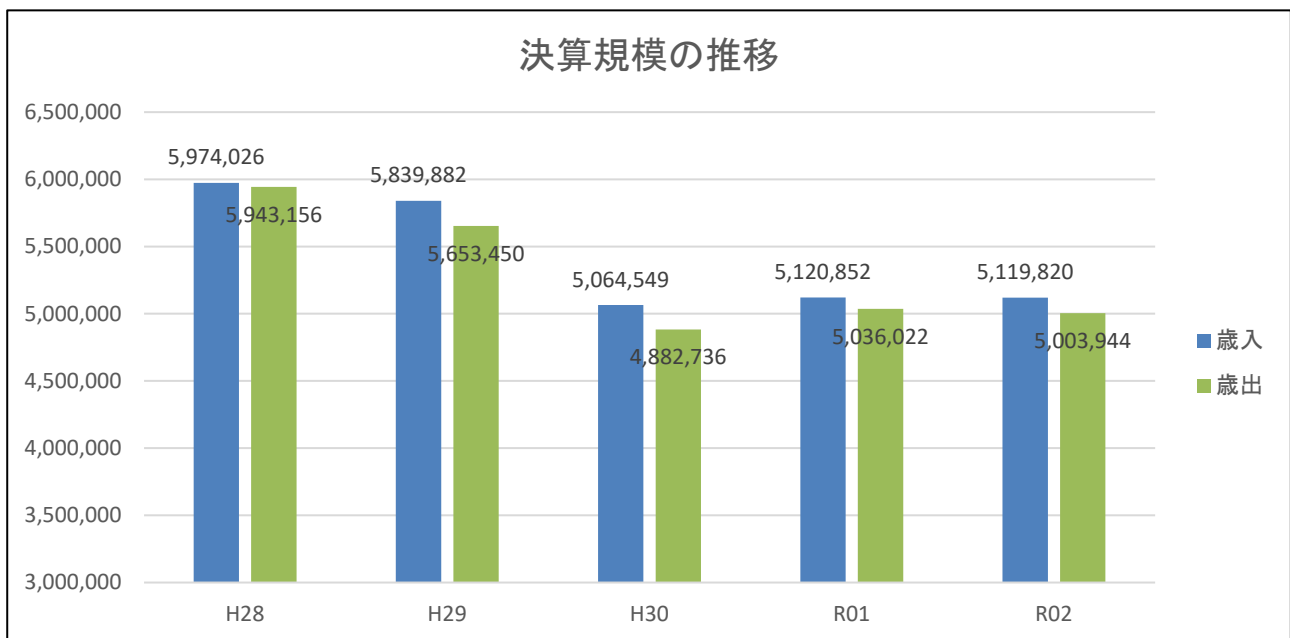
平成 30 年度の国保制度改革によって、都道府県が財政運営の責任主体となり、市は県が決定した国保事業費納付金を納付し、県は市に保険給付に必要な費用を全額交付します。

会計の仕組みが大きく変わったため、平成 30 年度以降の決算規模は小さくなりました。

令和 2 年度決算の状況は、歳入総額 5,119,820 千円、歳出総額 5,003,944 千円、歳入歳出差引額は 115,876 千円となりましたが、この額には前年度からの繰越金 84,830 千円と財産収入（財政調整基金利息）37 千円が含まれており、財政調整基金には財政調整基金利息 37 千円を積み立てましたので、前年度繰越金と財産収入を差し引き、財政調整基金積立金を加えた実質単年度収支は 31,046 千円の黒字でした。

単位：千円

会計年度	A 歳入	B 前年度繰越 金	C 財産収入	D 歳出	E 差引	財政調整基金		実質単年度収支 (A-B-C-D +F-G)
						F 基金積立額	G 基金取崩額	
H28	5,974,026	730	33	5,943,156	30,870	33	0	30,140
H29	5,839,882	30,870	9	5,653,450	186,432	30,000	0	185,553
H30	5,064,549	186,432	24	4,882,736	181,813	24	0	△ 4,619
R01	5,120,852	181,813	20	5,036,022	84,830	100,020	0	3,017
R02	5,119,820	84,830	37	5,003,944	115,876	37	0	31,046



## (1) 歳入の内訳

令和2年度の歳入は、保険給付に必要な費用として県から交付される普通交付金が3,487,437千円（68.1%）と多くの割合を占めています。

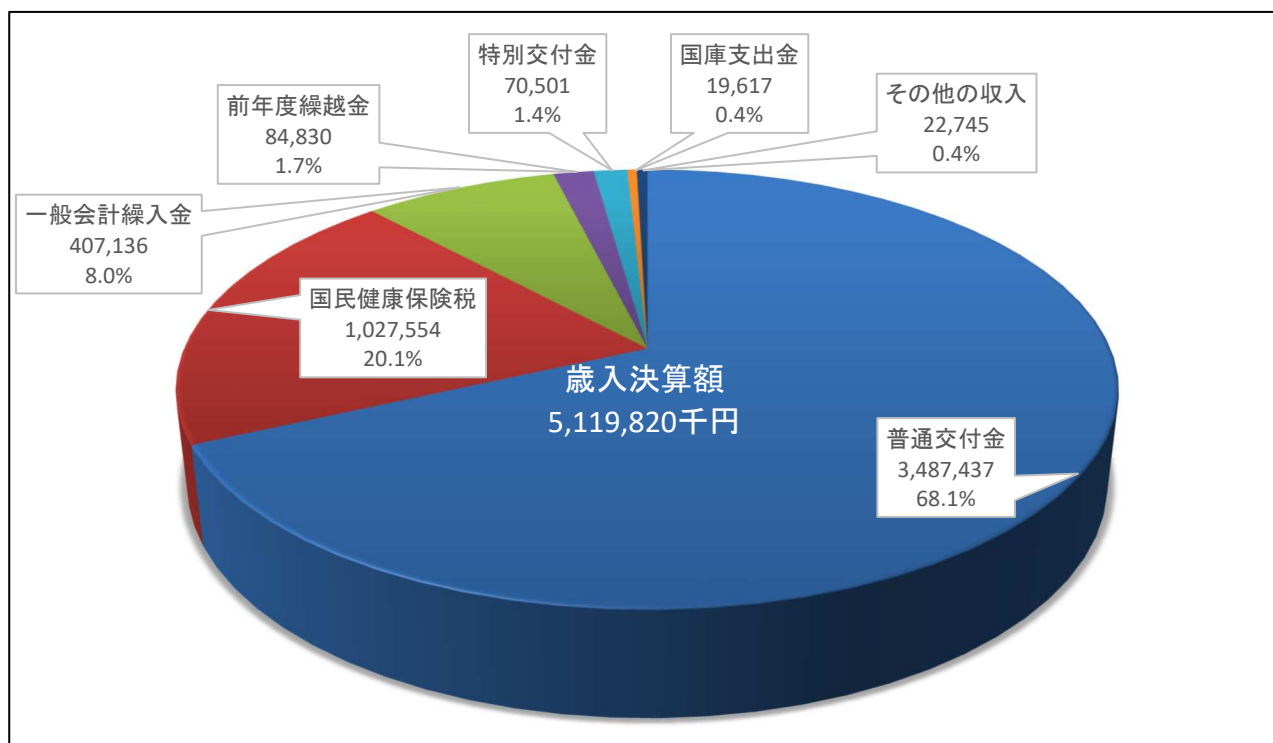
次いで県に納付するための国保事業費納付金を賄うための財源である国民健康保険税が1,027,554千円（20.1%）や一般会計からの繰入金407,136千円（8.0%）が歳入の主なものです。

一般会計からの繰入りに要する経費の大半は、地方交付税措置が講じられています。

また、保険基盤安定制度に係る繰入金は、国民健康保険が構造的に低所得者の加入割合が高い事から、保険税の軽減相当額が公費で補填されています。

単位：千円

予算費目	決算額	構成割合
普通交付金	3,487,437	68.1%
国民健康保険税	1,027,554	20.1%
一般会計繰入金	407,136	8.0%
前年度繰越金	84,830	1.7%
特別交付金	70,501	1.4%
国庫支出金	19,617	0.4%
その他の収入	22,745	0.4%
計	5,119,820	100.0%



## (2) 歳出の内訳

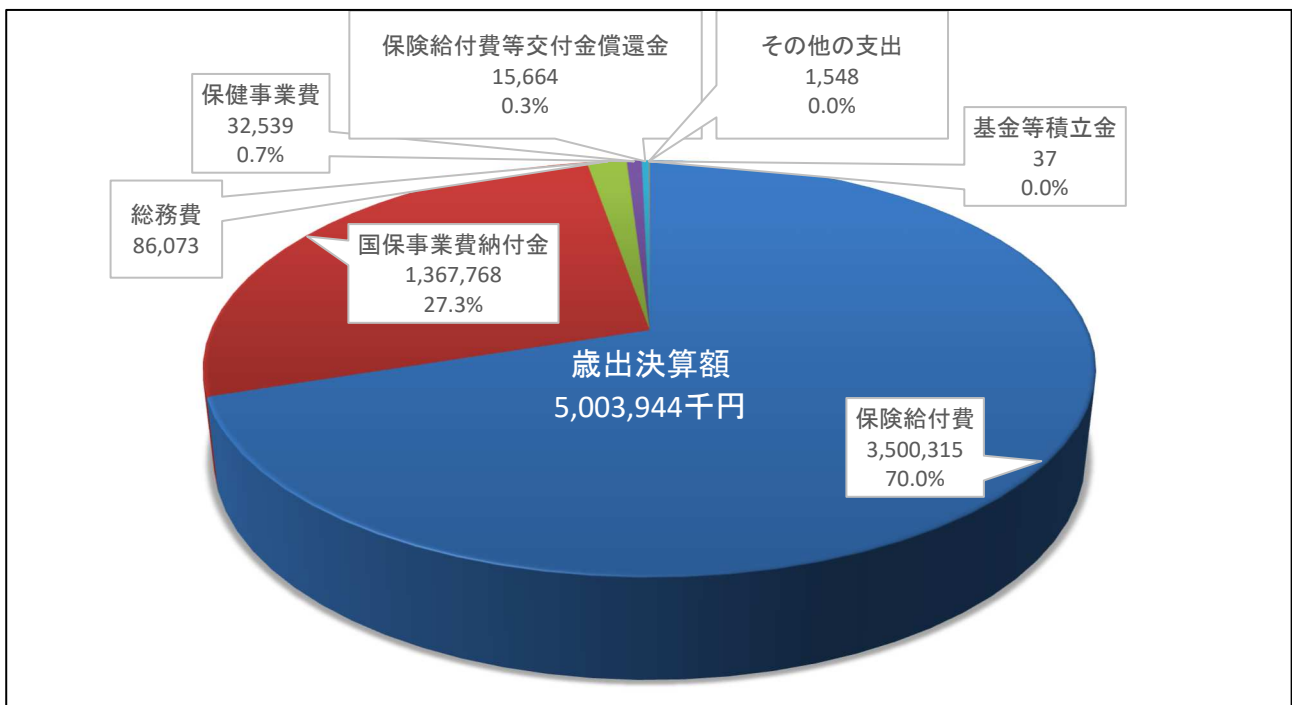
令和2年度の歳出は、国保加入者が病気や怪我で治療を受けた場合などに保険者である市町村が負担する費用の保険給付費が3,500,315千円（70.0%）と多くの割合を占めています。財源は国保制度改革によって、全額、県からの普通交付金で賄われる仕組みですので、市町村は資金不足に陥ることなく、安定した財政運営を行うことができます。

なお、普通交付金の財源は、国や都道府県からの公費、県下市町村からの国保事業費納付金、前期高齢者交付金等で賄われています。

次いで保険給付に要する費用等に充てるために財政運営の責任主体である県に納付する国保事業費納付金1,367,768千円（27.3%）が歳出の大半を占めます。

単位：千円

予算費目	決算額	構成割合
保険給付費	3,500,315	70.0%
国保事業費納付金	1,367,768	27.3%
総務費	86,073	1.7%
保健事業費	32,539	0.7%
保険給付費等交付金償還金	15,664	0.3%
その他の支出	1,548	0.0%
基金等積立金	37	0.0%
計	5,003,944	100.0%



#### 4 財政調整基金の状況

八幡浜市国民健康保険事業特別会計の財政の調整を図り、医療費支払いの円滑化と健全な運営に資することを目的に八幡浜市国民健康保険財政調整基金を設置しています。

令和2年度は、基金から生じた預金利息37千円を積み立て、年度末残高は198,065千円となっています。

単位：千円

年度	A 当初基金残高	B 基金積立額	C 基金取崩額	年度末基金残高 (A+B-C)
H28	67,951	33	0	67,984
H29	67,984	30,000	0	97,984
H30	97,984	24	0	98,008
R01	98,008	100,020	0	198,028
R02	198,028	37	0	198,065

#### 5 国民健康保険税の収納状況

令和2年度国民健康保険税の収納状況は、現年度分995,983千円、滞納繰越分31,571千円、計1,027,554千円であり、前年度に比べ1.2%の減収となりました。

なお、調定額（課税額）は現年度分と滞納繰越分を合わせて1,112,205千円であり、徴収率は92.4%（現年度分97.4%、滞納繰越分35.4%）となっています。

なお、平成30年度を境に大きく税収が落ち込んでいますが、国保制度改革に併せて実施した保険料率の見直し（資産割の引き下げ。）による影響です。

単位：千円

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
現年度分	1,085,095	1,081,415	996,738	1,004,476	995,983
滞納繰越分	48,576	53,394	40,709	35,948	31,571
計	1,133,671	1,134,809	1,037,447	1,040,424	1,027,554

